

# あわら 市議会だより



## 第42号

平成26年10月15日 発行



芦原中学校（部活対抗リレー）



金津中学校（応援合戦）

## Contents

9月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	6p
激励・協賛金一覧	9p
討論・請願・陳情・意見書	10p
議案と結果	11p
ふるさと探訪	12p

9月6日（土）、さわやかな秋晴れの下、金津中学校、芦原中学校において体育祭が開催されました。

生徒の一生懸命な姿、爽やかな笑顔は、いつ見ても素晴らしく、心を打つものがあります。

議会がインターネットで視聴できます。

[あわら市議会インターネット中継](#)

[検索](#)

# 9月定例会 平成26年度一般会計補正予算(第3号) 1億2,615万3千円を増額

総合防災訓練(農業者トレーニングセンター9月21日)



- 一般会計予算総額は148億919万5千円に
- 平成27年4月から認定こども園に移行
- 決算審査特別委員会を設置

委員長 毛利 純雄 副委員長 森 之嗣  
委員 山本 篤、平野 時夫、吉田 太一、杉本 隆洋、三上 薫、山川知一郎

平成26年9月定例会が9月1日から19日までの会期で開催されました。今定例会では、放棄した非強制徴収公債権等に関する1議案及び健全化判断比率等の報告に関する2議案を受理しました。決算の認定10議案、補正予算に関する2議案、条例の制定及び改正に関する12議案、市有財産の無償譲渡に関する5議案の計29議案が上程され、決算の認定を除く19議案はすべて原案のとおり可決しました。決算の認定については、決算審査特別委員会において閉会中に審査することから、継続審査となりました。

また、今回は5名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、請願1件を不採択、陳情1件を採択とし、また、議員発議による意見書2件を可決しました。

議会日誌		おもな会議のみ掲載	
6月27日	広報編集特別委員会	6月27日	市街地活性化調査特別委員会
30日	市街地活性化調査特別委員会	7月4日	広報編集特別委員会
7月4日	広報編集特別委員会	9日	環境対策調査特別委員会
9日	環境対策調査特別委員会	23日	厚生経済常任委員会協議会
23日	厚生経済常任委員会協議会	25日	総務文教常任委員会協議会
25日	総務文教常任委員会協議会	28日	市街地活性化調査特別委員会
28日	市街地活性化調査特別委員会		行政視察(20日まで)
			環境対策調査特別委員会
			行政視察(29日まで)
31日	議会運営委員会		全員協議会
	第72回議会臨時会		
8月12日	厚生経済常任委員会		
22日	総務文教常任委員会協議会		
25日	議会運営委員会		
26日	議会活性化特別委員会		
28日	環境対策調査特別委員会		
9月1日	第73回議会定例会 開会		
8日	決算審査特別委員会		
9日	第73回議会定例会一般質問		
11日	広報編集特別委員会		
18日	総務文教常任委員会		
19日	厚生経済常任委員会		
	議会運営委員会		
	全員協議会		
	第73回議会定例会 閉会		

## 総務文教常任委員会

### インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

平成26年度  
一般会計補正予算

#### ■政策課

#### インターネット

#### 映像配信等

705万2千円

委員ケーブルテレビでの映像配信を中止し、インターネット配信に切り替えるとの事であるが、パソコンを使えない高齢者はどうするのか。  
理事者 インターネットは、見たい時に見たいところから視聴できるという利点がある。

公民館や老人福祉センター等に、インターネットを視聴できる環境を整備し、パソコン等の使い方についても出前講座を行うなど、周知を丁寧に行いたい。



(仮称)にぎわい交流館 イメージ図

(仮称)にぎわい  
交流館整備工事等  
2千987万円

委員にぎわい交流館整備に約3千万円追加し、総事業費が約9千万円になる。

一方、ふるさと創造プロジェクト全体の事業費が決まっているため、今

後予定している他の事業に影響するのではないかと。理事者 今回は、他の事業の予算を回すようになる。しかし、JR芦原温泉駅前、あわら市の顔であり、整備計画を縮小することにならないよう、県に対して新たな事業を求めて行きたい。

#### ■教育総務課

金津中学校校体育館  
天井落下対策工事  
設計委託料  
86万4千円

委員 天井落下対策は安全に関わるものであり、何故もっと早くできなかったのか。  
理事者 金津中学校体育館は平成21年に耐震工事を行っている新しい天井である。

どのように施工するか、専門家を交えて検討していたため、予算の計上が今になった。

#### ■文化学習課

「県立青年の家」  
用地取得費  
685万1千円

委員 不動産鑑定額より高い金額であり、どうし

ても取得する必要があるのか。  
理事者 この土地の取得については、県も強く求めており、どうしても購入したい。金額については、何度も交渉し、下げる努力をした結果であるので、理解してほしい。

金津創作の森  
電気炉購入等  
220万4千円

委員 あわら市のような小規模自治体で、「創作の森」のような文化施設を運営維持していくのは、難しいのではないかと。民間でも検討すべきと思うが、どのように考えているのか。  
理事者 創作の森への運営補助は、毎年1千万円程度である。美術館のような施設は、民間が運営しても難しいものであ

創作の森への直接的な収入が無くても、入館者があわら市に来ることによる経済的波及効果は、かなりあると考えている。



創作の森



# 厚生経済常任委員会

## インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

平成26年度  
一般会計補正予算

### ■建設課

**市営住宅解体工事  
111万3千円**

委員解体の坪単価はいくらか、また、解体後の借地返還はどのように考えているのか。

理事者解体する物件は3棟あり、約75坪で金額は311万円である。坪単価は約4万1千円である。



市営住宅(稲越団地)

### ■農林水産課

**企業的園芸確立  
支援事業補助金  
5千774万7千円**

委員この事業を実施することにより、どのぐらいの耕作放棄地が無くなるのか。

理事者貸付希望として柿原7.1ha、山十楽6.7ha

借地の返還については、長い年月の中で周辺環境も変わっているため、解体後、返還できない土地もある。具体的な対策はないが、今後、地主の意見を聞きながら対応していく。

委員解体費用が非常に高額のため、精査して発注すべきである。

借地の返還には、様々な問題があるが、しっかりと対応すべきである。

### ■観光工商課

**学生合宿誘致事業  
補助金500万円**

委員30人泊以上の要件だが、少子化の中で部員数も減少しており、要件を緩和してはどうか。

理事者15人の団体が2泊すると30人泊であり、妥当と考えている。しかし、近隣の状況も調査していきたい。

**(仮称)県境の館  
「越前加賀歴史  
情報館」建設に  
係る道路改良工事  
700万円**

9haであるが、明らかに耕作放棄地は無く、自ら耕作をしていない遊休地である。

委員事業年度終了後、事業実績、費用対効果の資料を提出するよう要望する。

委員加賀市側の道路は、あわら市側の幅員と同じにならないのか。

理事者加賀市の道路整備については、前加賀市長から住民の賛同を得ることは困難で、将来にわたっての道路整備は不可能であると回答があり、加賀市側の道路の整備は難しい。

ただ、加賀市では、加賀吉崎町だけでなく、塩屋地区を含めた周遊性を高めることを考えており、今後、歩道整備や、案内板の設置の計画をしている。県境については歩きながら周遊してほしいと考えている。

**刈安山水道  
取水口整備工事  
140万円**

委員受水槽をステンレスとしているが、中の補強

のアンクル部に泥が溜まり、電気分解で腐食することを知っているのか。

また動物系の混入はないのか。

理事者腐食については業者に確認する。動物系の混入については、入り込まないよう、水留めの上水のみを取水するようにしている。

また、水質については、標準的な検査は毎年実施しており、基準はクリアしている。

**あわら市幼保連携  
型認定こども園条  
例の制定について  
(関連7議案)**

**市有財産(保育  
所・幼児園)の無  
償譲渡(5議案)**

委員公設民営から完全民営になり、地域に任せ

てしまうと、行政との繋がりが薄くなる。今まで培った経験、資金はあると思うが、行政として引き続き指導を要望する。

理事者民営化への不安感はあるが、様々な面で協力し、支援も必要であると認識している。ただ、私立としての心構えも大切であり、民間になると経営も大切である。市内すべての園が、認定こども園に移行した理由は、国の指導もあり、将来の経営を考えた結果、こども園が良いと判断したからである。



運動会の様子(本荘幼稚園)

## 環境対策調査特別委員会

### 行政視察報告

7月28日は浜松市で湖沼の水質改善の取り組みについて、29日は浜松市西部清掃工場を視察しました。

浜松市には佐鳴湖という汽水湖があります。佐鳴湖地域協議会を設置し、行政と市民が様々な対策を行っています。

行政の取り組みとしては、下水道の整備、合併浄化槽の普及、浚渫、接触酸化施設の整備などを行っています。

市民の取り組みとしては、年一回イベントとしてヨシ刈り、クリーン作戦などを行っています。市民が行うヨシ刈りは、刈り取ったヨシを茶畑の敷きワラに再利用しており、水質改善にとっても有効だと感じました。

また、下水道の普及・接続と合併浄化槽の設置

が、一番効果があると考えられていることでした。

そこで、下水道の接続や合併浄化槽の設置を促すための対策として、職員や業者委託で個別訪問を行っています。

次に、西部清掃工場ですが、この施設は、PFIの手法を導入して整備した溶融炉であります。

この工場には、環境体験施設「えこはま」が併設しており、不用品交換市おもちゃの修理、家具のリユース工房など、様々な試みを行っています。

特に良いと感じたのは、PFIの手法を用いた溶融炉建設と、不用品交換関係です。

PFIの手法は、非常に参考になりました。不用品交換は常時、図書・おもちゃ・子供服



環境体験施設えこはま

### ※PFIとは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

の持ち帰りができるようになってきていること、それに加え、月一回「もったいない市」としてフリーマーケットのような不用品交換市を開催し、多くの市民が利用し大盛況のことでした。

### 行政視察報告

7月28日は長野県須坂市で「花と緑のまちづくり事業」について、29日は長野県小布施町で「おぶせオープンガーデン」について視察しました。

花と緑のまちづくり事業は、市内を花や緑で飾り、訪れる人に喜んでいただく取り組みです。市民ボランティアが主体となって実施しており、市内100箇



オープンガーデン

市としては毎年マップと看板を作成しているだけで、ガーデンの管理については、全て所有者の負担でした。次に、「おぶせオープンガーデン」は丹精込めた個人の庭を

所に市民手作りのフラワーロード、花壇が整備されています。

また、市民が個人の自慢の庭を開放する取り組みも行っており、最近来訪者が増加しているそうです。その理由は、来訪者がインターネットを通じて広報することで、口コミで広まったそうです。



個人宅の前に設置された看板

開放する事業で、オープンガーデンに参加している個人宅の庭は、だれでも自由に散策することができます。

それぞれの庭は個性あるガーデニングが施され、趣と格調のある立派な庭であることにも、大変感心させられました。

観光客は、住民の生活、その息づかいまでも、感じることができ、自然と親しみを覚えるとともに、町には適度な緊張感があり、住民の生活に張りを与えていると感じました。

# 市政について問う!

9月の定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。  
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



- 吉田 太一 議員
  - あわら市の災害に対する対応について
  - 日本海側の大規模地震による津波対策について



- 平野 時夫 議員
  - 小中学校の空調設備の導入について
  - 市営住宅の施策について



- 山本 篤 議員
  - 小学校の適正規模・適正配置について
  - あわら温泉開湯130周年記念について
  - セントピアあわらの指定管理について



- 卯目 ひろみ 議員
  - あわら市の子ども・子育て支援について



- 山川 知一郎 議員
  - 米価対策について
  - 農産物への鳥獣害被害防止対策について
  - 宇根観音の保存について



## 災害に対する対応について

**吉田 太一 議員** 土砂災害等の恐れがある特別警戒区域の住民に、危険である旨をどのように周知しているのか。また、避難勧告はどの時点で発令するのか。

**土木部長** 市では、土砂災害ハザードマップを配布し、航空写真上に土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を表示し、併せて最寄りの拠点避難場所まで、これらの警戒区域を通らない避難ルートを表示しております。次に、避難勧告につい



総合防災訓練の様子

総合防災訓練の様子  
は、土砂災害警戒情報が発表された場合などに発令することになります。ただし、その判断は、情報を発表した気象庁などの関係機関との相互の情報交換や、土砂災害警戒情報の危険度判定等、広域的な状況把握、あるいは土砂災害の前兆現象等必ずしも数値等で明確にできないものも考慮することとしていきます。

## 大規模地震による津波対策は

**吉田 太一 議員** 今回、政府の調査検討会が津波の高さを発表しましたが、改めて対策は考えているのか。

**総務部長** 国が公表した大規模地震に関する報告書では、あわら市の最大津波高は3.0メートルと示されています。これに対し、福井県が平成24年に独自に津波高等を設定しており、日本海沿岸の北潟付近で最大津波高5・46メートルとされています。よって、これまで前提としてきた想定を超えるものではないため、緊急にマニュアル等の改定は考えていません。



## 小中学校の空調設備導入について

**平野 時夫 議員** 中学校の空調設備は、ランニングコスト面及び災害発生時の熱エネルギー供給ということを考慮して導入すべきではないか。また、夏季の学習環境の改善を図るため、小学校にも空調設備を導入すべきではないか。

**教育部長** 9月補正予算で中学校の空調設備実施設計業務委託の経費を計上しました。空調設備の熱源には、主にガスヒートポンプと電気ヒートポンプ方式があり、ランニ

## 市営住宅の施策について

**平野 時夫 議員** 老朽化した市営住宅の安全対策は講じないのか。また、市営住宅を今後整備する考えはあるか。用途廃止完了後の土地の取り扱いはどうするのか。

また、市営住宅を今後整備する考えはあるか。用途廃止完了後の土地の取り扱いはどうするのか。

## 土木部長 耐用年数を大幅に超えた住宅に対する安全対策は、費用対効果の面から控えている状況であります。

また、市内には民間アパートが数多くあり、供給過多の状態にあるため、アパート経営等にも配慮し、現時点では新たな市営住宅を整備する計画はありません。次に、住宅の用途廃止の目的が概ね立った段階で、土地の所有者を含む関係者の方々と、土地の取扱いについてその都度協議したいと考えています。



市営住宅(稲越団地)



山本 篤 議員

### 小学校の適正規模・適正配置について

**山本** 説明会等を開催しているが、参加者の反応はどうか。

また、「統合ありき」で説明しているのではないかと。

**教育長** 学校の小規模化に関わる課題等については、概ね理解をいただいています。

「課題解決のために早く統合を進めるべきである」という意見がある一方、「今までも少人数であり、これからの問題は無い」と。また、地域の「コミュニティ」に対する不安などの意見もあります。

緊の課題であり、保護者や地域の理解が得られるよう、丁寧な説明を行います。平成28年4月の統合を目指しています。

**山本** 歴史や地域性に鑑み、小学校教育を考えるべきで、地域が一体となり、特徴ある教育を奨めていくべきではないかと。

**教育長** 地域学習については、公民館活動や子ども会活動を通じて、子ども達を育てていくことも重要であります。

小学校の統合は、児童数や通学の問題だけではなく、地域の成り立ちなど様々な要因が絡む問題ですが、子どもたちを育んでいくという学校本来の役割を第一に考え、「子どもたちにとって、必要な環境を新たに作り出していく」という視点で捉えてほしいと考えています。

いずれにしても、今後

も、地域の皆様との話し合いを大事にしながら進めたいと考えています。

**あわらし温泉開湯130周年記念**

**山本** 予算はどのような規模を考えているのか。

**経済産業部長** 120周年祭の決算額は約4千万円ですが、現在の経済情勢等を考えた場合、予算規模を縮小せざるを得ないと考えています。

**セントピアあわらし指定管理について**

**山本** 指定管理者が書類送検されたが、どのように考えているのか。

また、責任はどう考えているのか。

**市長** 起訴又は判決が下された時点において、その内容を十分に精査し、市として適切に判断すべきものと考えています。



卯目ひろみ 議員

### 子ども子育て支援について

**卯目** 平成26年3月に実施した子ども子育て支援に関するニーズ調査結果を踏まえ、今後の保育事業にどう活かしていくのか。結果から見える当市の家庭の傾向・分析の見解は。

**市長** 「認定こども園」の教育・保育提供区域ごとの定員や一時保育の利用量等について、子ども子育て会議において審議いただき、来年2月を目途に県や関係機関と調整しながら「あわらし子ども子育て支援事業計画」を取りまとめ

ます。

本市の家庭における主な傾向は、とりわけ高い共働き率が挙げられます。父親の約98%、母親の約90%が週5日以上働いております。これに伴い幼児園や保育所などの利用状況は83%を超えている状況です。これらの結果を踏まえ、保育量等の見込みを検討しています。

**卯目** 今後の就学前の幼児教育や子育て支援に関する考え方は。

また、親心を育む一つの施策として、「1日保育士体験」を取り入れてはどうか。

**市長** 近年の核家族化に伴い、高い保育支援等が求められる一方で、親心を育む施策等も強く求められていると認識

しています。

また、「1日保育士体験」は、すでに少しずつ取り入れています。保護者の幼児教育に必要な知識、スキルを高め、親子の絆を深めるうえで、とても効果的な方法であると考えています。

今後、公立、私立を問わず、市内全体へ広がるよう推進したいと考えています。



シルバーママサービ「すくすく」



山川知一郎 議員

### 米価対策について

**山川** 今年から「直接支払い交付金」が半減されたのに加えて、生産者米価は大暴落。あわらしの集落営農の組織率は全国トップクラスであるが、これが赤字になれば、一気に耕作放棄となる可能性がある。

国民の主食であるコメを安定的に生産・供給するとともに、食の安全を守るためにも、コメの需給について国は市場任せにせず、責任を持つよう強く求めるべきではないか。

**市長** 今年の米価下落は本市の農業にとって

大きな影響があると考えています。

今後は、県や関係団体と連携し、コメの安定供給に向けて、国が責任を持つて関与することや、産地交付金を十分に確保できるよう、積極的に取り組んでいきます。

### 鳥獣害被害防止対策について

**山川** インシシヤハクビシンによる被害が拡大している。金網柵や電気柵による被害防止や檻による捕獲等に、いつそう支援を拡充すべきではないか。

### 経済産業部長

金網固定柵の整備が進んでいますが、被害は減少していません。市独自の「狩猟免許取得助成」や「イノシシ捕獲促進事業補助金」を活用して、地域ぐるみの取り組みを強化していただきたいと考えています。



観音堂内部の様子



宇根観音堂

### 宇根観音の保存について

**山川** 宇根観音を早急に調査し、文化財として保存すべきではないか。

**教育長** この地域一体を史跡として指定する選択もありますが、必要な調査を行った上で判断したいと思っています。

## 議員会 激励費・協賛金一覧

あわらし市議会議員会は、青少年の育成を目的に、小中学生がスポーツ等で全国大会に出場した場合等、内規に基づき激励費を支出しています。また、地域の活性化を図る観点から、各種協賛金も支出しています。

上半期分(4月から9月まで)の激励費・協賛金一覧を掲載します。(単位:円)

月	激励費・協賛金の内容	金額
4月	緑の募金	9,000
5月	金津創作の森友の会年会費	36,000
6月	金津祭ポスター作製補助金	100,000
7月	あわらし市日中友好協会年会費	18,000
	金津中学校サマーコンサート協賛金	10,000
	芦原中学校文化部サマーコンサート協賛金	10,000
	あわらし市文化協議会賛助会費	18,000
	全日本少年少女空手道選手権大会出場激励(1名)	5,000
	全国小学生陸上競技交流大会出場激励(2名)	10,000
8月	あわらし北潟湖畔観月の夕べ協賛金	100,000
	全日本女子軟式野球学生選手権大会出場激励(2名)	10,000
9月	全日本ジュニアバドミントン選手権大会出場激励(1名)	5,000
	全国都道府県対抗中学バレーボール大会出場激励(1名)	5,000
	カヌーポロ世界選手権大会出場激励(6名)	30,000
合計		366,000

平成26年9月 第73回あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 -…欠席等 ※議長(笹原幸信)は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	山本 篤	平野 時夫	毛利 純雄	吉田 太一	森 之嗣	杉本 隆洋	山田 重喜	三上 薫	八木 秀雄	笹原 幸信	山川 知一郎	北島 登	向山 信博	坪田 正武	卯田 ひろみ	山川 豊	東川 継央	杉田 剛
平成26年度一般会計補正予算(第3号)	可決	x	○	○	○	○	○	○	○	○	/	x	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
幼保連携型認定こども園条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子ども・子育て支援法第87条の規定に基づく過料に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長 母子家庭等医療費の助成に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
提出 情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	x	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公民館条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
放課後子どもクラブ事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市有財産(細呂木保育所)の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市有財産(伊井保育所)の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市有財産(金津東保育所)の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市有財産(本荘幼稚園)の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市有財産(北潟幼稚園)の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市会 地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
案 参議院選挙制度改革に対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願陳情 「農政改革」を見直し、食料自給率の向上を最優先にした農政を求める請願	不採択	x	x	x	x	x	x	x	x	x	/	○	x	x	x	x	x	x	x	x
地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○

討論 平成26年度一般会計補正予算

JR芦原温泉駅前の「(仮称)にぎわい交流館」整備は、度々設計が変更になるなど、予算が無駄に使われてきた。旧倉庫を5分割することにより、イベントなどでの使用には適さないのではないか。そもそも「福井県の北の玄関口」にふさわしいとは思われず、地元の積極的賛成も得られていない。

吉崎の「(仮称)県境の館」は、県道から奥へ入った所に建設することであるが、駐車場は3台しかなく、アピール点は「県境である」ことだけで、内容も魅力あるものとは言えず、集客効果があるとは思えない。

ケーブルテレビでの放映を止めて、インターネット配信に切り替えるとのことだが、インターネットを見ることが出来る市民は限られており、現状の対応では不相当である。「県立青年の家」建設用地の取得費は、時価の倍以上である。それだけ払っても取得しなければならないという必要性は認められず、契約すべきではない。

反対

市税条例等の一部改正について

今回の改正は、軽トラックやトラクター・コンバインなど、農作業には欠かせない自動車・機械などの税金を、1.25~1.5倍に引き上げるというものである。米価の下落、直接支払い交付金の半減などで厳しい状況にある農家に対して、今年4月の消費税値上げに続く増税であり、農家の経営をいっそう圧迫するもので認められない。

反対

請願・陳情・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●「農政改革」を見直し、食料自給率の向上を最優先にした農政を求める請願

「要旨」

政府の「農政改革」の方向は、家族農業への施策を大幅に後退させ、企業を担い手の中心に据え、生産の拡大と食料の安定供給に対する責任を放棄し、市場原理化するものである。国民の願いや世界の流れと相いれないものとなっている。

「提出者」 福井県農民連

会長 玉村 正夫

「結果」 不採択

●地方財政の充実・強化を求める意見書採択を求める陳情

「要旨」

地方交付税は地方固有財源であり、国の政策方針のもとに一方的に決するべきでなく、国と地方の十分な協議を保障した上で、あり方や総額について決定する必要がある。

公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な行政運営を実現するため、平成26年度の地方財政計画、地方交付税総額の拡大に向けて特段の対策を求める。

「提出者」 自治労福井県本部

執行委員長 見世 重毅

「結果」 陳情を採択し、国へ意見書を提出

●参議院選挙制度改革に対する意見書

「要旨」

参議院選挙制度の見直し案は、人口の少ない県について、隣接する一つの都道府県と合区するものである。合区になると、人口の少ない県からは、二度と代表を参議院に送れないということになりかねない。

よって、人口の少ない県の代表を確実に参議院に選出できるような制度改革とするよう、強く要請する。

「結果」 国へ意見書を提出

★その他、要望書が提出されていますので、件名のみ掲載します。

●北陸新幹線工事について

「提出者」 細呂木地区北陸新幹線対策連絡協議会 会長

酒井 敏雄

# 議会報告会を12会場で開催します。

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、議会報告会を開催します。  
今回は、9月定例会の審議内容について報告させていただき、そのあと意見交換を行います。  
お近くの会場へ、お気軽にご参加ください。

日時	10月29日(水) 19:30~21:00	10月30日(木) 19:30~21:00	10月31日(金) 19:30~21:00
会場	二面区民館	波松区民館	坪江公民館
	中番コミュニティーセンター	劔岳公民館	金津本陣IKOSSA(3階)
	中浜区民館	新町区民館	伊井公民館
	北潟公民館	吉崎公民館	細呂木公民館

## ふるさと探訪

### 「えちぜん鉄道」

以前、地域の人々の足として活躍した京福電鉄が、えちぜん鉄道として生まれ変わって10数年が経過しました。30分ごとに田んぼや街中をゴトゴト走る姿は、のんびりと可愛らしく、その時々を写す一枚の写真風景として取り上げられることも多くあります。

あわら市内にある3つの駅舎のうち、本荘駅舎は国の有形文化財として現在も昔のままの面影を残しています。

かつては、国鉄金津駅から芦原駅を繋ぐ三国線も敷かれており、あわら湯のまち駅構内には、今でもポイント切り替えのための小さな建物が存在しているそうです。

秋の黄金色の田んぼの中を2両編成の電車が、人々を乗せて今日も走っています。ふるさとの原風景の一コマを感じてみてはいかがでしょうか。  
(卯目)



## 編集後記

実りの秋、読書の秋、スポーツの秋、秋本番が感じられる季節となりました。

秋には体育祭、敬老会、秋祭り等々多くの行事が開催されます。我々議員も可能な限り参加させて頂き、地域の方々とのふれあいの中で、地域の様々な問題点など、市民の皆様のご意見を拝聴することが大事だと考えています。

国が、財政難に陥っている中、地方自治体独自の施策が求められています。あわら市においても独自の活性化施策を確立していかねばなりません。市民が抱えている諸問題をお聞きし、その問題点を一つずつ解決していくことが活性化の第一歩であります。市民の代弁者である議員の責務として、しっかりと取り組んでいかなければならないと思っております。

市議会に対する市民の皆様のご理解とご協力をよろしく願ひ申し上げます。  
(山田)

編集・発行責任者  
議長 笹原幸信  
市議会広報編集特別委員会

委員長 山田正武  
副委員長 山本知一  
委員 山本知一  
委員 山本知一

委員 山田正武  
委員 山本知一  
委員 山本知一  
委員 山本知一

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、市議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局  
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

AWARA  
あわら市